

# すみれぐみ

スポーツデーはあいにくのお天気で子ども達の可愛らしい姿を直接お届けする事が出来ませんでした。スポーツデーを経験し大きな成長を見せてくれました。当日予定していた、お母さんクマさんとリスさんとのふれあい遊びは年長さんにクマさんになってもらい、クマさんと一緒にフォークダンスを行った姿はとても可愛らしかったです。自分で作ったリスのお面を被り、スポーツデーが終わってもリスさんになりきって遊ぶ事を楽しんでいます。

## あそび

今日はこの子と遊びたい！という気持ちが強くなり、友達と一緒に遊ぶ事が楽しくなっている子ども達です。最近ではクラスでオオカミさん今何時？という遊びを行いました。オオカミさんは夜中の12時に起きる事を伝えると、オオカミ役の保育者に恐る恐る「オオカミさん今何時？」と聞きます。12時！と言われるとキャー！と悲鳴をあげて逃げ回っています。その後、園庭に出ると子ども同士で複数の子が集まり、「オオカミさんになるからみんなは逃げてね」と声を掛けていました。捕まってしまうと、それが嫌で泣いてしまう子がいるのも3歳児ならではの姿です。保育者がオオカミになる際には「捕まえる」のではなく「食べちゃうぞ」と優しくタッチをしています。タッチをしても逃げてしまう所も年少さんらしいです。簡単なルールの中で、やりとりを楽しみながら体を動かして楽しんでいます。

園庭に落ち葉が増えました。様々な形や色の落ち葉を見つけると、「先生！この葉、ハートの形みたいだよ！色が半分違う！」と持ってきます。この葉はウサギの耳なんだよ。と教えてくれた子に1枚の画用紙を手渡すとクレヨンを使い、ウサギの形にしていました。すると何人もの子が「僕もやりたい！私も！」とあっという間に園庭のテーブルが埋まってしまいました。なかなか自分から友達に声を掛けられない子も、言葉は発していなくても葉を渡してコミュニケーションをとっていました。

子どもの遊びは止まることなく次々と展開されています。そこで子どもの興味を見逃さず、満足できるよう必要な言葉や、道具を提供しています。

## 友だち関係

友だちが登園すると「おはよう！早く遊ぼう！早く支度して！」と早く友だちと一緒に遊びたい様子で、時には「もー早く出来ないなら手伝う！」と友だちの支度も行っている子もいます。

一緒に遊びたい気持ちから、相手に断られてしまうと「一緒に遊んでくれない、仲間に入れてくれない」としょんぼり保育者に伝えてくる姿もあります。その時の気分や「遊びたくない」という素直な気持ちから「一緒に遊ばない」と言ってしまうのも3歳児の特徴です。決して相手の事が「嫌い」ではありません。自分の思いが上手く伝わらないのです。こういった際には、「先生と一緒に入れて？と聞いてみる？」と問いかけたり、「先生と一緒に遊ぼうか！」と聞くと納得しています。友だちとの遊びを通してやりとりが生まれ、社会性を身につけていきます。

## 生活

自分の事は自分で出来るようになり、出来ない時には「手伝って」と言えるようになりました。保育者に手伝ってもらおうとする姿や、「僕がボタンやってあげる！」と、子ども同士で助け合う姿も出てきています。朝の支度は早く遊びたい気持ちからあっという間に済ませる子が増えてきました。

給食では、「今日は野菜ひとつ食べられた！」と苦手なものも一口は食べようとする姿も見られます。「〇〇ちゃん、床にごはん落ちてるよ？」と声を掛け「先生どうする？」と落ちているものを気に掛けるようになりました。自分で拾って捨てる事に繋がっています。

作品展では、スポーツデーでリスになった経験から、「くぬぎのもりのりすのがっこう」という絵本を題材に、リスの幼稚園を子どもと作っていきますので楽しみにしててくださいね。



# たんぽぽぐみ

スポーツデーでは、お母さんお父さんと幼稚園で一緒に遊ぶことをとても楽しみにしていた子どもたちでしたが、あいにくのお天気で中止になってしまいました。しかし、当日に予定していたお母さんお父さんクマさんとのフォークダンスは、年長さんにクマになってもらい、恥ずかしそうにしながらも嬉しそうに楽しんで踊る姿が見られました。スポーツデーが終わってから自分で作ったリスのお面をつけてお家作りをしたり、リスさんになりきって遊ぶ姿があります。

スポーツデーを経験し大きな成長を見せてくれました。

## あそび

「リスごっこ」「オオカミさんいまなんじ?」「種さがし」などをして集団で遊ぶ姿が多くみられるようになってきました。以前は、一緒に砂場あそびをしているように見えても全く別なものをイメージして各々で作っていましたが、最近は「僕お山つくる!」「ぼくもやる!」「じゃあ僕水持ってくる!」と声があがり、同じものをイメージして一緒に作る姿も見られます。リスごっこでも「僕は電車に乗って会社に行ってくるよ」「私はおやつを買ってくるね」「ごちそう集めてパーベキューしよう!」など想像を膨らませながら1人1人の思いを言うようになり、繋がるようになってきました。

最近クラスで「オオカミさんいまなんじ?」をやりました。オオカミの保育者に食べられないよう恐る恐る「オオカミさんいまなんじ?」と聞き、「12時!」というオオカミの声に合わせ楽しそうに逃げています。繰り返していく中で、今までは追いかけることを楽しんでいた子ども達も追いかけることの楽しさを知り、「僕もオオカミさんになりたい!」「私も!」とオオカミになり逃げていく友だちを追いかける姿が増えてきました。

園庭にも秋が増え、落ち葉の色や形、大きさなどの違いに気が付くと嬉しそうに伝えにきて、うさぎの耳やお花に見立てて遊んでいます。みんなで葉っぱを集め、落ち葉のベッド作りを楽しむ姿も見られています。

つぎつぎと移り変わっていく子どもの興味を見逃さず、遊びが充実して広がるように、道具や環境を提供しています。

## 友だち関係

スポーツデーが終わったあたりから、大きく広がりを見せました。なんとなくいつも決まった友だちと遊んでいた子や、あまり自分から友だちと関わろうとしていなかった子も、周りの子に興味を持ち、いつもと違う子と遊んだり、おいかっこなどの集団のあそびに入っていく姿が見られています。集団でのあそびが広がっていくなかで、最近は「ともだちになろう」と毎日のようにかわ

いらしく話す姿も見られます。大人目線でみると、今まで友だちじゃなかったの!?と感じることもありますが、これも友だちを意識し始めてきた証なのだと感じています。

また、現在年少組では、自分の思いを相手に伝えようとする、相手の思いに気が付くということねらいとし、日々の保育を行っています。一緒に遊びたいお友達が他の遊びをしている様子を見て本当は「一緒に砂場しようよ」という気持ちなのですが、「ダメ!ダメだっば!」などと言う姿があります。そのようなときには、保育者が入り「ダメじゃないのよね。〇〇くんと遊びたいのね。一緒に遊ぼうだね。」と子どもの気持ちを代弁するようにしています。また、「〇〇くんと遊びたいけど僕は滑り台したい」「でも僕はブランコが良い」と思いがぶつかる時には、「順番に滑り台してからブランコするのはどうかな?」と両者の気持ちを受け止めながら、提案しています。遊びの中で思い通りにいかずにその場から離れてしまう場面も見られています。そんな時には「〇〇くんも本当は車を走らせたかったんだね。先生と一緒に言いに行ってみない?」などと、自分の思いも少しずつ伝えられるよう援助しています。それでもまだ自分の気持ちを言葉にすることが難しい3歳児です。

## 生活

自分のことを自分でやろうとする姿が増えてきました。時間がかかっても自分で行おうとあきらめずに挑戦していたり、保育者が手伝おうとすると「ボタンを留めるのは僕自分でできるよ」「私もうできるもん!」などと嬉しそうに話しにくる姿も多く見られます。自分で出来る所は見守り、応援などを行っています。また、園生活にも慣れ、身支度も出来るようになってきたので、次の段階として、困っていることや難しいと感じることがあるときに自ら保育者に助けを求められるようにすぐに手伝うのではなく「難しかったら伝えてね」「先生のお手伝いが必要な人はここにおいでね」などと見守っています。

その中でも、スポーツデー後に大きな変化が見られたのは子どもたちが助け合う場面です。入室時にカラー帽子を外していないお友達がいたときには、「〇〇くんば、う、し!」「〇〇ちゃん! (全力でカラー帽子を指さす)」と一生懸命に教える姿が見られたり、給食のスプーンをしまい忘れているお友達を見つけたときにも「〇〇ちゃーーーん!!!」と園庭にいるお友達に向かって大きな声で呼んだり、「ちょっとこれ(片付け)終わったら追いかけてくる!」などと探す姿も見られています。

作品展では、スポーツデーでリスさんになった経験から『くぬぎのりのりのすのがっこう』という絵本を題材にリスの幼稚園を子どもたちと一緒に作っていきますので、楽しみにしててください。



# ゆりぐみ

## 遊び・友達関係

「先生見て！オレンジ色！」「この穴、ハートみたい！」と、色とりどりの落ち葉を拾い集めたり、空を見上げて雲の形にイメージを膨らませたり、深まる秋を感じながら元気いっぱい遊んでいます。

スポーツデーを終えた子ども達は、自信がつき、雲梯や鉄棒、縄跳びなど、遊びの中でも色々なことに挑戦するようになりました。鉄棒では、今まで頭を下げるのが怖かったけど、「ちょっとやってみよう…できちゃった！！」と、さらなる自信となる姿もありました。友達との関わりも深まってきましたよ。「〇〇ちゃん遊ぼう」「入れて」という何気ないやり取りも、1学期の頃は担任が側にいたり、時には一緒に伝えることもありましたが、「友達と仲良くなった」という実感のある今では自然と伝えられるようになってきました。

ゆり組で大人気のバナナ鬼でのことです。鬼をやりたい子が多く、逃げる人がいませんでした。

担任：「あら、鬼ばかりになっちゃったね。どうしましょうか」

A：「わかった！わたしが決める！Bくんは逃げ、Cちゃんは…」(それぞれ役を割り当てていく)

B：「なんでAちゃんが決めるの！ぼく鬼がいい！」

C：「そうだよ！じゃあ鬼決めしよう！Cがやるから！」

B：「うんうん、そうしよう」

A：「やだ！わたし鬼決め大っ嫌い！」(わたしは絶対鬼がいい！)

担任：「そうなの～？鬼決めてこうして足を出してやるのよね」

B, C以外の参加していた子も皆足を寄せて、鬼決めをしようとなりました。

A：「やだ！鬼決めやだ！！」

B：「もう～わかったよ、Aちゃんは最初から鬼でいいよ」

そして無事に鬼が決まり、始めようとした時です。

D：「ぼくも鬼がよかった…」と言って泣き出す

C：「え～…」

A：「じゃあ誰か代わったら？代わってあげたらいいじゃん！」

E：「ぼくやるよ！」



それぞれが思いを主張しながらも、解決に向けて話し合おうとする姿には驚かされました。これを見るとAとDがわがままを通したようにも見えますが、子ども達の間では納得できているのが分かります。

こうして譲ってあげたり譲ってもらったりしながら相手の気持ちを思いやる力を身に付けていくのです。もちろん、いつもこんなに上手くはいきません。どちらも譲れず、そっぽを向いたり涙をこぼすことも沢山あります。

## 生活

衣替えをして、セーラー服に黒帽子で登園する子どもたちを見ると、冬が近づいてきているのを感じますね。さて、このセーラー服のボタンを上まで留められていますか？ボタンの位置を目で確認するのが難しいですが、幼稚園ではすぐに手を貸さずに見守ります。すると自分で鏡を見たり、友達同士でつけてあげる姿も見られるようになりました。

今、年中組では、シャツやブラウスの襟を整える、脱いだ靴は向きを揃えてしまうなど細かなところも自分たちで気付けるように声をかけています。こうした習慣は、ただ身なりや環境を整えるという事だけでなく、心を落ち着かせたり、気持ちを切り替えたりする事にもつながっています。友達との遊びが楽しくなってきたについつい手を抜いてしまいがちですが、今後も伝えていきたいと思います。

## 自分でできたよ！

食後のうがいを終わるとそれぞれ自分でミルクカップを片付けるのですが、「先生！見て～！」「できた！」とナフキンにミルクカップを包み、自分で結べたことを嬉しそうに見せに来てくれます。友達が上手に結んでいるのを見ると「自分もやれる！」と挑戦する姿も見られ、成長を感じます。

## 作品展に向けて



「あそこに敵の忍者の足跡を見つけたよ！」と園庭の足跡をたどってみたり、強い風が吹くと「風起こしの術だ！」と回転ジャンプをしてみたりと、スポーツデーが終わってもまだまだ忍者ごっこを楽しんでいる子ども達です。

「大きい忍者屋敷をつくろう」「仕掛けの扉もつけたい」「水雲の術だから川も必要だよ」とイメージもより具体的になってきています。作って楽しい、遊んで楽しい、ゆり組ならではの忍者の世界を作っていけたらと思っています。

また、大きな紙に絵の具で絵を描いたり、紙粘土やスチレン版画、画用紙を破って偶然できた形からイメージを膨らませていく見立て絵あそびなど、個人の製作もあります。楽しみにしててくださいね！



## 《きくぐみ》

園庭では赤、黄色、オレンジなどの様々な色の葉が舞い落ち、夏から秋へと季節を感じるようになりました。きくぐみの子供たちは落ち葉を拾い、葉っぱの束にしたり、拾ってきた落ち葉を見比べて「この柄綺麗だね!」「この葉っぱ途中で色が変わってる!」など葉っぱの違いに気付くようになりました。「先生、今僕の上からオレンジの葉っぱが落ちてきたよ。なんで落ちてきたんだろう…?不思議だね」「木の葉っぱが落ちるとなんか木が寂しくなるね。」などの会話が繰り広げられることもありました。

### 【生活】

2学期に入り、スポーツデーを経験し、自分でやる!やりたい!という気持ちがより一層高まっています。1学期は自分で行う事に対してあっているのか自信がなく、先生に確認しながら身支度を行っていましたが、今では「今日は10日だね!」「ぼくわかる!ここでしょ?」と言いながら自分で日付を確認してシールを貼ったり、遊び着、セーラー服のボタンを自ら止められるようになりました。一つ一つの身支度に対して出来た事が嬉しくて「一人でできたよ!」と満面の笑みで駆け寄ってくる事もあります。そんな時は子供たちの自信へとつなげられるように褒めるようにしています。月曜日には体操もあり、体操着への着替えもありますが、以前は出来なかった裏返しを直す事や畳んでしまう事も少しずつ出来るようになりました。出来るようになった事が増えてきたので、今クラスでは遊び着やセーラー服を着た際のシャツのえりを自分で直す事に取り組んでいます。自分では見えない所なので降園前になると一斉に鏡の前に並ぶ…といった光景も見られました。取り組み始めたある日、女の子が「私が直してあげる!」と手を差し伸べ友達のえりを直す様子も…。シャツのえりを直すのに困っている子がいると「やってあげる。」「僕自分でやってみる!」など友達に手伝ってもらいながらも出来た気持ちを嬉しそうに伝えにきます。毎日繰り返すうちに自分から取り組む事が増え、成長が見られるこの頃です。しかし!!周りの子に興味をむきすぎてしまい、自分の身支度が疎かになってしまう…という事があるので、今後は一つ一つ自分で確認しながら行っていけるようにしていきたいと思っています。



### 【遊び】

スポーツデーで忍者になって二人で協力して爆弾を運ぶといった競技を経験した事で、友達関係が少しずつ変化してきています。1学期はなかなかクラスの子に馴染めず年少の頃仲が良かった子と遊

んでいた子供たちでしたが、2学期に入り、集団ゲーム〔バナナ鬼〕〔氷鬼〕〔どろけい〕などを行う中で少しずつクラスの友達を意識するようになり、今では自分から遊んでいる友達の輪に入り、遊びを楽しんでいます。仲が良い友達が増えた事で友達を遊びに誘う事も増えてきました。ただ、ある日遊びに誘われ、「いいよ!」と全部の誘いに答えていた女の子。気付けば周りの子が「私と約束してたのにあの子どもが行っちゃったよ~」「さっき遊ぶって約束してたのに他の子と遊んでいるね。」と寂しがる様子も…。友達関係が変わり、その中で自分の思いを伝えたい!と思う子が増えてきた反面、上手く伝えられず意見がぶつかり合う事も出てきています。ぶつかった時に友達に対してどう伝えたらいいか、どうしたら自分の思いが相手に伝わるかを一緒に考えながら、次の成長の第一歩を見守っていきたいと思っています。

### 鬼ごっこ…

「鬼ごっこしよう!」「いいね!一緒にやろう!」「おれもやる。」と友達を誘い合い、鬼ごっこが始まろうとしていました。「よし!鬼決めしよう。」と年長の真似をして「鬼決め、鬼決め、鬼じゃない人…!」と男の子が鬼決めを始めました。しかし!!「おれ鬼やりたくない。逃げたい」と鬼に決まった子が話しました。なかなか鬼ごっこがスタートしないので担任が鬼ごっこをやろうとしていた子に「鬼やりたくないみたいなんだけど、どうする?」と提案しました。しばらく考える子供たち…。「私もやりたくない!」「鬼やってよ!」「やだ!」と会話が繰り広げられた結果、「あ!そうだ!僕良いこと考えたよ。僕鬼やるよ!だって鬼の方が楽しいもん。」「じゃあ始めようよ。逃げるぞ~!!」とやっと鬼ごっこが始まりました。鬼決め一つにしても毎日鬼ごっこが繰り広げられているとこんなやりとりも見られるようになっていきます。鬼がなぜやりたくないのか聞くと「だって一人じゃみんな捕まえられるもん。」「逃げる方が楽しいでしょ?」と話し始める子供たち。子供たちの中で捕まえるよりも走って逃げ切った方が勝ちと思っているようで「おれ、鬼に一回も捕まってないよ、すごいでしょ?」と話すことも。鬼ごっこはやりたいけど鬼はやりたくないという気持ちの葛藤はまだまだ続くようです…。

### 【作品展】



きくぐみでは、『ちいさなちいさなおかしのまち』という絵本の世界を作っています。みんなが大好きなお菓子の中で何を作りたいかと聞くと「やきいも!」「シュークリーム」「アイス!」「ドーナツもおいしいよ!」と様々な意見が。その中でどうやったら本物っぽく作れるかを考える子供たち。「段ボールを絵の具で塗ったらいいんじゃない?」「新聞紙丸めて色のついた紙つければ焼き芋になるね」「ドーナツって真ん中穴あいてたね」などお互いに話しながら考えて作り始めました。また、ステレン版画では大切な人の顔、見立て遊びでは偶然できた形から何に見えるか考えるなど他の作品も作り始めています。是非きくぐみのおかしのまち、他の作品など楽しみにしていて下さいね!



## クラス便り さくら組



### 【スポーツデーを通して】

スポーツデーでのたくさんの声援、ご協力ありがとうございました。子ども達にとっても自信となった事と思います。今年は例年と違う形ではありましたが、子ども達はこのスポーツデーに向けての活動を通して様々な事を感じ、心が育ってきたと思います。ご家庭でも変化を感じられていますでしょうか。

**組体操**では初めは自分の体の動かし方にも戸惑い、悩んでいました。少しずつ技らしくなってきた頃、子ども達と"どうして倒れることなく出来るのか"について話し合うと「だって俺力強いから！」という声が出て、話が2人体操、3人体操に及ぶと「〇〇くんも力強いよね」と一人では出来ないということに目が向いてきました。そこで担任から「〇〇君が手を離しちゃうんじゃないか、って思ったことない？」と問いかけると満場一致で「そんなこと思った事ない」の声。それを聞き、友達と信じ合っているからこそ出来る事、それが力となって頑張っている事を改めて意識しました。

**タイヤ引き**では初めは作戦が必要ということも気付いておらず「たくさん取るうね！」と意気込む子ども達でした。勝負が終わってから、必ずその日のうちに振り返りの時間を取りました。「私のところ一人しかいなかったから取られちゃったよ」と自分で気づいた事やこちらが見ていた気づいた事も投げかけます。すると「全部のタイヤ取りたいから分かんない？」「男は力強いから女の子だけで取りにいくんじゃないか、ってペアになって取りに行こう」と具体的な話が出てきました。紙とペンを渡すと早速作戦を図にし始めます。時々けんかもあったけれど子ども達の中で"今は何をやる時なのか"、を意識するようになり、そして"他人事"ではなく自分たちの事として考え始める姿が出てきました。

今まで憧れの目で見ていた**バトンリレー**、意欲も十分で初めは"自分が何番をやりたいか"から話は始まります。しかし「私あんまり早くないから走るの心配…」という声が挙がると再び考え始める子ども達。「じゃあ早い人で挟む？」「僕たちも頑張るから自分でも頑張る」という声からだんだんと"どの順番なら勝てるのか"という話し合いに変わってきました。遅い子を責めるのではなくどうしたら早く走れるかアドバイスを送る子もいます。それを受けて自主練する姿も見られました。勝負を通して何度も涙し、喜び合い、4位から大逆転した日もありました。たくさんの経験とそこでの認め合いから、"諦めない"という強い気持ちを持つ事の大切さを知りました。

このスポーツデーを通して何度も話し合いを重ねた子ども達。子ども同士怒る姿もありましたが、正面から気持ちをぶつけていました。大事なのは"そこからどうするか"をたくさん考えあったことです。友達の良さに気付いたり、解決策を知ったり、仲間意識もより強くなったのではないのでしょうか。



### 【遊び・生活】

さくら組は毎日のように氷鬼をして遊んでいます。子ども達の中で"鬼は多すぎると困るから5人まで"と決めていました。しかし「鬼が増えてる！」ということが毎日起こります。しかし自分たちで声を掛け合い、どうにかしようとしています。大人がルールを定めれば戸惑いはなく遊べたかもしれませんが、しかし時間をかけ、たくさんの"上手いかなさ"を経験してみんなで考えた事が大事な経験だと思っています。生活でも、部屋に戻る時間を事前に伝えるだけで声を掛け合せて支度を終わらせて部屋で待つ、生活の流れを自分たちでスムーズに出来るようになりました。自分達で出来ていない事を声を掛け合う一方で、「今日早いじゃん！」「変わってきたね！」と拍手が起こったり、友達の変化に気づき認め合いの心がより出てきたのではないかと思います。

### 【就学に向けて】

出来る事が増えて来たからこそ大切なのは"日頃"です。親御さんとしては色々心配なこともあると思います。しかし親は心配せずに、身支度や持っていく物の準備から手を引き、見守って下さい。後でこっそり見て出来ていないところは本人が気付けるように「今日は何の日だった？」「持ち物少ないね」などきっかけとなる声を掛けて下さい。時々忘れるのは仕方ありません。それを本人が困る経験をする事も必要です。「届けてあげるから心配しないで」ではなく「届けるの大変だったんだから！」としても良いと思います。心配は尽きずに大変かもしれませんが、子どもを信じて「待つ」姿勢が大切です。子ども自身が人や物と向き合う必要があります。困らないように状況を全て整えてあげることはせず、子ども自身が向き合えるように、今一度振り返って頂けたらと思います。



### 【作品展に向けて】

作品展に向けての活動が始まっています。どんなものを作りたい？と話し合った時に様々な意見が出ましたが共通していたのは"みんなで遊べるもの"でした。「大きいものが作りたい！」「じゃあみんなで力合わせよう！」と次から次へと話が膨らみます。みんなの考えを合わせて決まった今年のテーマは『びっくり遊園地』です。楽しい事が大好きな桜組ならではの、どんなことが起きる遊園地が出来上がるのでしょうか。楽しみにして下さいね。





## 藤組 クラスだより

気持ち良い秋晴れの下、のびのびと身体を動かすことを楽しんでいる子どもたち。ますます秋の深まりを感じている今日この頃です。スポーツデー後の活動を通して成長した姿や、生活面、遊びの様子などを載せました。

### ・・・スポーツデー・・・

今年のスポーツデーは組体操、タイヤ引き、全員リレーを行いました。スポーツデー当日は、多くのご声援ありがとうございました。活動を通して生活、遊び、友だちと子どもたちの中で様々な成長の姿がありました。

#### ・・・組体操・・・

組体操では、初めは太鼓の音に合わせて行動するのが難しく、横が揃わず友達と話してしまう姿がありました。自分だけではできないことをすることが増え、繰り返しやる中で伝えていくと集中したりタイミングをあわせようとする姿がでてきて、気持ちがそろっていき、何回も取り組む中で、はじめは出来なかった技が気持ちをそろえる事で、完成に近づいたり、「〇〇君の土台は崩れなくてかっこいいね」「〇〇ちゃんのようにピンと腕を伸ばそう」と、お互いにいいところを発見したり、友だちを信じる気持ちがでてきて、最後までやり抜く事ができました。

#### ・・・タイヤ引き・・・

はじめは勝ち続けていましたが、だんだんと負けが続くと、勢いだけでは勝てないと気付いた子ども達です。目の前にあるタイヤを目指して取ればいいと思っていましたが、負けが続く、勝つためには具体的な作戦が必要なんだと知りました。意見を出し合う中で、「女の子は力が弱いから力持ちの男の子とペアになればいいんじゃない」「足が速い人が桜のタイヤを取りに行こう」「取ったらすぐに 00 ちゃんペアを助けに行くな」と、互いを思いあい、最後まで全員諦めず頑張りました。

#### ・・・全員リレー・・・

はじめは話し合いにならず、それぞれが自分の思いを自由に言い合っていました。勝ち負けを経験する中で、「リレー1 位になれた！嬉しい」「あ～、負けて悔しい」「今度は絶対勝ちたい！」と、何度も作戦会議をする中で「私抜かされたらどうしよう」「僕が抜かされても追いつくから大丈夫だよ」「足の速い 00 ちゃんがアンカーがいいと思う」と、自分が一番早いと思っていた子どもが、自分よりも足の速い子を見つけたり、相手を信じる気持ちが芽生えたりと、人の良い所を見つけるようになり、話し合いの内容が変わってきました。

「みんなと走れて楽しい！」と仲間と走ることを楽しみながら最後まで頑張りました。当日は、タイヤ引きは負けてしまいましたが、全員リレーは、「絶対勝つ！」といきこんでいた子どもたち。大接戦の末、1、2位を取ることができ大喜びの子どもたちでした。仲間と頑張った達成感を味わい、クラスの絆が深まった経験となりました。

### ・・・遊び・生活・・・

スポーツデー後は、「雲梯やってみよう！」「縄跳び 00 回跳べるようになりたい」「鉄棒で逆上がりができるようになりたい！」と意欲的な姿がでてきました。新しく藤組に加わったお友達が、逆上がりができ、足も速いことに、みんな驚いていました。「逆上がりはどうしたらできるの？」「何回も練習するとできるよ」とアドバイスを聞きながら諦めずにチャレンジしている子どもたちです。だんだんと寒くなってきましたが、寒さに負けず、鬼ごっこや氷鬼を楽しんでいます。遊びを子どもたちだけで進められるようになりました。しかし、トラブルもでるようになりました。途中で鬼が嫌になり、黙ってやめる子や鬼になる子など、その都度話し合いをしながら進めています。気づいたことをみんなに伝えて考えておきたいと思います。また、工作づくりも大好きで、発表をする経験から友達の良いところを発見するいい機会となっています。「00 ちゃんの切り絵上手だね」「今度刺の作り方教えて」と、仲を深める時間になっています。

### ・・・作品展に向けて・・・

今年の藤組のテーマは「宇宙」です。ある日、「トイレットペーパーの芯で何か作れないかな～」「あ！望遠鏡作ろう！」「望遠鏡で星が見たいな～」「お部屋が星空ならいいな」と、子どもたちの発言とアイデアから星や宇宙の本を読み聞かせしました。すると、「宇宙に行ってみたい」と興味を示しはじめ、テーマが宇宙に決まりました。「宇宙には何があるかな～？」と同く、「流れ星」「宇宙船」「地球」「宇宙人」など、たくさんの意見が出てきました。これから子どもたちと一緒に宇宙空間をつくっていきたいと思います。

### ・・・就学に向けて・・・

スポーツデーの活動で自信をつけてからは生活面にも勢いが出てきました。例えば、給食の時、苦手な野菜にも挑戦し、完食したい気持ちがでてきています。また、幼稚園では就学に向けて、生活面を見直していこうと考えています。着替えの時には、「きちんと畳んでしまう」、片付けの時には、きちんと元の場所に戻す等です。身支度も自分で行うように、ご自宅でも見守っていただければと思います。万が一忘れものがあれば、自分が嫌な思いをし、次からは気をつけよう意識するようになります。自立の一步です。幼稚園では日頃から時計を使いながら生活しています。これは、時計をみて時間の間隔を身に着けてほしいからです。ご家庭でも、「長い時計の針が12までに支度を終わらしましょう」「2までに片付けをしましょう」など、自分で時間を意識することで、先を見通して行動できるようになります。今後も就学に向けて、ご家庭と協力しながら取り組んでいきたいと思っています。